民報藤島

2019年11月3日

第1223号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉱一（宝徳）
TEL0235-64-3941
携帯090-8929-4221
ＨＰは「藤島 加藤鉱一」と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月２００円程度）
10月 15人 16,380円
9月 40人 46,026円

「枠配分方式」に移行

鶴岡市の来年度予算編成方針

鶴岡市は来年度予算編成方針で、これまでのシーリング方式から「枠配分方式」に移行することを示しました。

対前年比マイナスシーリング（天井）での予算要求を、財政課で1件査定積み上げする方式から、各部局にあらかじめ要求基準枠を設定し、各部局が主体となって予算枠内に調整する手法で、予算規模を圧縮することに適した方法とのことです。

一般財源で今年度当初比△5億円の上限を設定としていますが、困難も予想されます。

日韓関係を考える学習会

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（ＡＡＬＡ）山形県委員会（笹山一夫理事長）の主催で、日韓関係を考える学習会が26日、鶴岡市勤労者会館で開かれました。

講師は山形大学地域教育文化学部の高吉嬉（コウキルヒ）教授です。

不正義で理解不能

安倍政権は韓国に対する貿易規制を拡大し、日韓関係に重大な影響を与えています。

韓国人から見ると、6月28・29日の大阪サミット2019で、安倍首相は「自由貿易を守ることの大切さ」を語ったのに、直後の7月4日、その言動に反し韓国に対する輸出規制を発動したことは、「不正義で理解不能」と受け取られ、日本製品の不買運動と訪日観光客の激減を生み出しました。

2018年10月30日の韓国最高裁の徴用工賠償判決が理由となったことは明らかです。

日本が戦前、中国や韓国から強制連行し、徴用工として過酷な労働を強いて犠牲者を出したことは歴史的事実です。

日本人は歴史をきちんと学んでいないことが指摘されました。

中国には解決、韓国には対立

中国人強制連行では2009年10月23日に西松建設と和解し、三菱マテリアルも16年6月1日に和解。ともに被害補償や記念碑を建立、和解金を支払っています。

中国には解決を進め、韓国には「嫌韓」を煽って対立を深める政治は異常です。

県内では酒田港に連行された338人の中国人が酒田港で石炭など荷揚げ労働を強制され、監視と飢餓の「タコ部屋」生活で31人が死亡、3人が逃亡して藤島鉄橋手前の線路上で轢死した事件がありました。

「酒田港中国人強制連行を考える会」が全面解決に向けた運動に取り組んでいます。

その事件に関して、15年前の『民報藤島』に記事を掲載していました。（下段記事再掲）

日中友好新聞に小林政代医師

「強制連行」立ち会い医師として愕然

藤島町駅前の小林医院の医師、小林政代さんが「日中友好新聞」（日本中国友好協会）9月25日号の一面に次のように登場しています。

☆　☆　☆

1945年2月1日夜半、酒田港に強制連行された中国人3人が逃亡、翌早朝藤島川鉄橋手前（酒田寄り）の線路上で轢死しました。小林さんはその時の死体検案者でした。

「それは雪の多い年で、3㍍も積もっていました。朝暗いうちでした。電灯で足元を照らして凍りついている鉄橋を這うようにしてたどり着きました。顔も足も手もバラバラ、内蔵も両側にあっちこっち散らばっていました。新聞などには一切出ませんでした」と語ります。

昨年、酒田市での第5回殉難者慰霊祭にも参列し「朝鮮や中国の人たちを強制連行したことは真に恥ずべき行為、その時私は立ち会い医師として愕然としました」と述べました。

93年に亡くなった夫の勇さんは、大戦末期には上海、青島の同仁会病院の医師として徴用の苦しい体験をもっていました。

「思い出すのもつらいのですが、私の弟も45年5月、学徒出陣（明治大学）でフィリピンの野に散りました。優秀な弟でした。私はもう89歳になりましたが、いつまでも忘れることはできません。轢死した3人もあきらめきれないでしょうが、これから両国間にこのような過ちのないように誓いましょう」と話しました。（民報藤島２００４年10月3日４６４号）

晩秋有感

晩秋　感有り　　城貞（藤の花）

西風吹き老いて独り悲しむに堪えたり
寂々たる寒空　日暮の時
遠望すれば群山　秋色　窈し
余生対坐して詩を賦するを楽まん

西風吹老独堪悲
寂寂寒空日暮時
遠望群山秋色窈
余生対坐楽賦詩

秋風が吹き、木の葉が散るのを見るにつけ、年老いた昨今堪えがたい悲しみをおぼえる。

ものさびしい寒ざむとした夕暮れに、

遠くの山々を見渡せば、めっきり秋色がふかまった。

このような時節は机にむかって愚作の詩でも作って楽しむとしよう。

西風＝秋風。寂々＝ものさびしいさま。日暮＝ゆうがた。ひぐれ。窈＝深。

余生＝人生の残りの命。賦＝詩を作る。

（第3種郵便物認可）　毎日小学生新聞

準備万端！

お正月

②正月飾り

1面からつづく

しめ縄研究家の森須磨子さんは「年末年始の町は、しめ飾りの博物館ですよ」と言います。全国を訪ね歩いて集めた200個のしめ飾りの現物、何千枚もの写真の中から、一部を紹介してもらいました。

地域でさまざま

作り手の思いが込められたしめ飾りは、森さんにとって、すべてが宝物です。なかでも印象に残っているのは、山形県鶴岡市で出合った俵の形のしめ飾り。「つ作るのに、一日半の時間がかかります。

美しい形に驚きましたか。でも、みなさんが気づいていないだけで、どの地域のしめ飾りにも特徴があります。稲やウラジロ、神が宿るといわれる和紙や、繁栄を意味する鶴など、飾りつけも違います。

形や飾りに意味

そこで、年末年始に自分の住む地域のしめ飾りを調べてみましょう。森さんがしめ飾りの見つけ方を教えてくれました。

＊各地域で開かれる歳の市（正月に使う品を売る市）に行ってみる

＊12月28日ぐらいから、道端や広場の露店でしめ飾りを売ることが多いので、近所を歩いてみる。駅の近くや商店街を中心に

＊同じ形に見えるしめ飾りも、職人を取ると違う形と分かることも

＊年が明けたら、各家に飾られたしめ飾りに注目。古い旅館やデパートの入り口などで大きなしめ飾りが見られることも

しめ飾りを見つけたら、形や飾りにどのような意味があるのか、地域のお年寄りやお店の人に聞いてみましょう。しめ飾りに代々込められてきた思いが伝わってくるはずですよ。

（写真はすべて森さん提供）

豊作を願う「俵」の形。森さんは、鶴岡市の町の雑貨店でこのしめ飾りを見つけたそうです（山形県鶴岡市）

❶「オカオカクシ」と言います。神様に飾り、神様の顔を見ないようにします（宮城県中ノ条町）❷飾りをかなえてくれる不思議な玉「宝珠」の形（広島市）❸九州地方では「鶴」を表すものが多いですが、形は地域によって違います（宮崎県）

「毎日小学生新聞2011年（平成23年）12月27日火曜日」から

しめかざり研究家・森須磨子さんと鶴岡市の出合い

毎日小学生新聞2011年（平成23年）12月27日（火曜日）付2面に、「お正月飾り」を特集。しめかざり研究家の森須磨子さんが、「年末年始の町は、しめ飾りの博物館ですよ」と語っています。

森さんが全国を訪ね歩き、なかでも印象に残っているのが、山形県鶴岡市で出合った「俵の形のしめ飾り」とのこと。

森さんは、鶴岡市の電器店で見つけたそうで、その店は藤島駅前の工藤正喜さんの店とのことです。続きは当日の講話で。

「第4回収穫感謝パーティ」

◎11月8日（金）
午後5時30分から
◎藤島地区地域活動センター大ホール
◎第1部　講話『年と年を結ぶ「しめかざり」の魅力』森須磨子さん
◎第2部　交流会（会費・男1000円、女500円）
主催：庄内農高瑞穂同窓会・藤島地域連絡協議会（☎64・2281）
★どなたでも参加できます。

世界の国々
エチオピア首相にノーベル平和賞

青山　崇

ノルウェーのノーベル賞委員会は10月、2019年ノーベル平和賞を、アフリカ東部のエリトリアとエチオピアの国境紛争を終結させた功績を評価し、アビー首相（写真）に授与した。

彼は18年4月、アフリカ最年少で政権を担い、非常事態解除や政治犯釈放などの改革を実施、第一の授賞理由のエリトリア紛争解決はその一環である。

エチオピアは、東アフリカで首都アディスアベバ、面積113㎢は日本の3倍、人口は1億200万人でアフリカ3番目である。

エチオピアと連邦だったエリトリアは、1962年エチオピアに強制併合、武装闘争を経て93年に独立した。

しかし国境の領有権などをめぐり98年に衝突し、死者は8万人に上り、和平合意が成立したが、もめごとは絶えず、首相のアビー氏は、常設国際仲裁裁判所の認定に従い、エリトリア領であること認めた。

エリトリア首都アスマラを訪問しイサイアス大統領と会談、平和と友好の共同宣言に署名した。

またエリトリアとジブチの関係正常化、スーダン民政移管の実現に尽力。紛争の絶えない「アフリカの角」地域で平和的解決に尽力したことも理由となっている。

私らの世代のエチオピアは、マラソンの〝アベベ〟である。

多民族が住み民族紛争が絶えないアフリカで、平和と友好を進める指導者を知るべきである。

ノーベル平和賞はノーベルの遺言で創設された5部門の一つ。授与主体はノルウェーで、スウェーデンとノルウェーの和解と平和を祈念したものである。

きびちょ

ケジメをつけろ

何年ぐらい前になるでしょうか。あつみ温泉が新潟のバスで溢れたという話、聞いたことありませんか。多分・バスに書かれた利用団体名は「越山会」となっていたと思います。こんな日が何日か続いたということだったです。「越山会」とは、言わずと知れた総理大臣も務めた田中角栄の後援会の名前ですネ。

▲今は、こういう事は出来なくなったんでしょ。だから、そんな時の旨味を、自分のお金を出さずに味を占めていたのが、首相が主宰する「桜を見る会」ではないですか。年々参加者の数が膨れ上がっているんだト。しかも、それは首相の地元後援会員だというのだゼ。

▲明らかに税金を使った選挙運動・やってはいけない「饗応」というヤツに当たりませんか。18年度は予算の3倍の支出になったというので国会で問題になっているんだ。これが何年も続いてきたとは、大事件でしょうヤ。

▲一方・こちらは「秘書が」香典を持って行ったからと、大臣を辞めた菅原経産相だ。この方・蟹やメロンを送ったとかで、既に週刊誌に登場していた方だト。今回も週刊誌に捕まったのだ。国会で説明をする・と言いながら辞表を出した。そしたら、与党の皆さんは説明責任を果たさせようとはしないんだ。首相も「選んだ自分に責任がある」と言いながら、頭を下げただけ。

▲どっちも国会としてケジメをつけろ。責任を認めて大臣を辞めた人は、選良じゃアルメー。線香を配った人は辞めたんだゾ。それを庇うのかヨ自民。検察は何もしないのか。

（小野寺五典・防衛相が99年に選挙民に名前入りの線香を配り、公選法違反で書類送検され議員辞職に追い込まれている。）（石川）